

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



倉持朱里 ちゃん
(令和元年11月生まれ・大堤)
いつもニコニコで元気！
かわいい笑顔がありがとね♡
(父：和弘、母：亜希子)



中嶋大智 くん
(令和元年11月生まれ・小堤)
生まれてきてくれてありがとう。健やかに育ってね。
(父：優、母：梓沙)



徳永暁斗 くん
(令和元年11月生まれ・山田)
元気いっぱい、力持ち！
すくすく大きくなーれ！
(父：康平、母：枝里)



羽部あかり ちゃん
(令和元年10月生まれ・関戸)
明るく元気で優しい子に育ってね
(父：恭幸、母：美布)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

自粛期間で気付かされた私にできること

石丸純鈴さん 三和東中学校3年生

最近まで私は、好きなピアノと英語を生かせる保育士になりたいと思っていました。しかし今年、新型コロナウイルスの流行から、さまざまなことを考えるようになり、私の夢も変わりました。

長い休校により、友達にも会えず不安な日々が続く中、当たり前と思っていた生活は当たり前ではないことに気づき、人の役に立てる国際貢献がしたいと思うようになりました。発展途上国の子どもたちに、学ぶことの楽しさ、友達と過ごすことの大切さなどを伝える教育支援をすることが私の夢です。

沢山の子どもの笑顔の世界中に広げられるよう私も笑顔で日々学び、努力し、夢を実現したいです。



キラリ 古河ビト

世界を変える一つの歯車に
発展途上国のゴミ問題と向き合う

時田航世さん 24歳・恩名

平成31年4月からボツワナ共和国で青年海外協力隊の隊員として活動してきた時田さん。新型コロナウイルスの流行により、任期の途中で帰国せざるを得ない状況になっても、夢を諦めず目標に向かっていく思いなどを伺いました。

東洋大学国際地域学部で途上国での開発コンサルタントを目指して勉強していた時田さん。フィリピンに語学留学した際、現地の人が劣悪な環境で暮らす姿に衝撃を受けました。この経験をきっかけに、途上国の環境衛生の改善に関わりたいう気持ちで芽生えたと話します。

現地で実務と経験を積むため、平成31年に青年海外協力隊としてアフリカのボツワナ共和国に派遣されます。そこでの業務は、ごみの最終処分場の管理体制改善でした。年功序列を重んじる現地の文化もあり、自分の意見がとらず衝突することも多くありましたが、地域住民の意思を尊重しながら前向きに行動することで、やりたいことが少しずつ実現できるようになっていったそうです。

しかし、新型コロナウイルスの世界の流行により、志半ばで帰国。地域の重要課題である廃タイヤや管理の改善などに取り組み始めた矢先だっただけに、悔しさが残ると話します。

現地での経験を糧に、現在は大学院で学業に励んでいる時田さん。卒業後は、途上国を支援できる衛生管理や輸出関係の仕事に就き、持続可能な世界を実現するための歯車となれるよう、これからも歩みを進めていきます。



▲環境問題の授業を受けた生徒たちと



▲小学生ともすぐ仲良くなりました



▲地域の人と議論する時田さん